

◇会議報告◇

## 2023 年上期 IFASS 会議報告

ASBJ 専門研究員 花澤 徳裕

SSBJ 専門研究員 江口 智美

### 1. はじめに

会計基準設定主体国際フォーラム（International Forum of Accounting Standard Setters; IFASS）は、各法域の会計基準設定主体及び会計基準に関連する諸問題に対する関心の高いその他の組織による非公式のネットワークである。IFASS 会議は、毎年、春と秋の 2 回開催されている。今回の会議は、米国ノーウォークにおける対面とオンラインのハイブリッド形式で開催された。会議には各法域の基準設定主体からの代表者に加えて、エフラグ（EFRAG）や他の地域グループの代表者、国際公会計基準審議会（IPSASB）など約 70 名がノーウォークでの会議に参加し、約 130 名がウェブ会議で参加した。企業会計基準委員会（ASBJ）及びサステナビリティ基準委員会（SSBJ）から、川西 ASBJ 委員長兼 SSBJ 委員長、中條 ASBJ 常勤委員兼 SSBJ 常勤委員、山口 ASBJ 常勤委員及び筆者が出席した。

なお、文中の発言者及び筆者の意見にわたる部分は、各人の私見であり所属する団体・組織の見解ではない。



### 2. 全体のスケジュール

今回の会議の議題は、次のとおりであった。

## 国際関連情報

	議 題	担 当
2023年4月19日		
1	歓迎と開会の挨拶	IFASS 議長
2	つながり (connectivity) に関する プレゼンテーション	国際会計基準審議会 (IASB) 国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB)
3	IASB アップデート	IASB
4	IFRS 第9号「金融商品」 分類及び 測定の修正	IASB
5	公共部門及び非営利組織の最新情報	オーストラリア、英国勅許公共財務会計協会 (CIPFA)、IPSASB
6	イスラム金融取引に対するマレーシ アの財務報告基準の適用	マレーシア
7	基本財務諸表：費用の分解表示	EFRAG、米国、IASB
2023年4月20日		
8	オーストラリアにおけるサステナビ リティ報告のロードマップ：気候優 先アプローチ	オーストラリア
9	ISSB アップデート	ISSB
10	ESRS アップデート	EFRAG
11	GRI フレームワーク	グローバル・レポーティング・イニシアティ ブ (GRI)
12	サステナビリティ報告：パネル・デ ィスカッション	<u>プレゼンテーション</u> オーストラリア <u>パネル・ディスカッション</u> モデレーター：オーストラリア パネリスト：カナダ、欧州委員会 (EC)、 韓国、ニュージーランド、ISSB
13	財務報告とサステナビリティ報告の つながり (connectivity)：パネ ル・ディスカッション及びプレゼン テーション	<u>パネル・ディスカッション及びプレゼンテ ーション</u> オーストラリア、カナダ、英国エンドースメ ント審議会 (UKEB) <u>プレゼンテーション</u> EFRAG、英国財務報告協評議会 (FRC)

## 国際関連情報

	議 題	担 当
14	暗号資産	オーストラリア、カナダ、米国
15	法域の財務報告に関する優先事項と最新情報①	アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ (AOSSG)、パン・アフリカ会計士連盟 (PAFA)、英国 (FRC)
2023年4月21日		
16	法域の財務報告に関する優先事項と最新情報②	米国、ラテンアメリカ会計基準設定主体グループ (GLASS)
17	インタンジブルズ (intangibles)	オーストラリア、EFRAG、GLASS、英国 (UKEB)
18	閉会の挨拶	IFASS 議長

### 3. 議事概要

#### (1) 財務報告とサステナビリティ報告のつながり (connectivity) : パネル・ディスカッション及びプレゼンテーション

本セッションの前半では、オーストラリア会計基準審議会 (AASB)、カナダ会計基準委員会 (AcSB) 及び UKEB から、IFRS 会計基準と IFRS サステナビリティ開示基準との間のつながりの論点についてのプレゼンテーション及びパネル・ディスカッションが行われた。AASB からは、IASB の「概念フレームワーク」と ISSB の IFRS S1 号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的な要求事項」の全般的要素のつながり、AcSB からは引当金に関するつながり、並びに UKEB からは資産の認識、測定及び減損に関するつながりについてそれぞれプレゼンテーションが行われた。

参加者からは、つながりをどこまで求めるのか、及びつながりのドライバーをだれ（作成者、利用者又は基準設定主体）とするかについて、検討すべきではないかとの意見が述べられた。また、IFRS 会計基準と IFRS サステナビリティ開示基準のつながりのみでなく、他の一般に公正妥当と認められた会計基準 (GAAP) についても考慮する必要があるのではないかと意見が述べられた。

本セッションの後半では、EFRAG から、財務報告とサステナビリティ報告の情報のつながりに関するリサーチ・プロジェクトの概要について説明された。また、FRC からは、気候報告のテーマレビュー（金融安定理事会の気候関連財務開示タスクフォース (TCFD) の提言に従った報告に基づくレビュー）の概要について説明された。



### (2) インタンジブルズ (intangibles)

本セッションでは、インタンジブルズ (intangibles) に関する最近の研究成果や提言について議論が行われた。最初に UKEB の代表者から、UKEB の研究プロジェクトの一環として 2023 年 3 月に公表された「インタンジブルズの会計処理—UK の利害関係者の見解」の概要が紹介され、UK の利害関係者のインタンジブルズに関する会計処理への懸念と要望が共有された。次に AASB の代表者から、ブランド価値、知的財産価値、人的資本価値、イノベーションと研究開発に関する価値等の指標を使った無形資産の開示に期待される便益とオーストラリアの財務諸表利用者のインタンジブルズに関する予備的なフィードバックが紹介された。続いて GLASS の代表者から、無形資産の会計処理に関連して、暗号通貨、無形資産に関する報告の不備、認識済及び未認識の無形資産に関する開示要求等についての GLASS の見解が共有された。最後に EFRAG の代表者が、2021 年 8 月に公表したディスカッション・ペーパー「インタンジブルズに関するより良い情報—最善の方法はどれか」に対するフィードバックの内容とそれらを踏まえた暫定提案が紹介された。その後は、IFASS 議長がモデレーターを務め、各発表者との議論や質疑応答が行われた。



## 4. 次回の予定

次回の IFASS 会議は、2023 年 9 月に英国のロンドンで開催される予定である。

以 上